

# 飛躍



## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

HIYAKU

第239号

### TOP\*NEWS

## 新生徒会役員決定 会長は松橋鑑君に 松前重義記念基金小論文 優秀賞 富沢竜也君 英語スピーチコンテスト 優秀賞 與安一誠君 カナダ・ボドウェル高校の校長来校



新生徒会のみなさん 後列左から 山川君 北村君 松橋君 小森君  
前列左から 久能さん 高橋さん 山澤さん



松前重義記念基金小論文優秀賞 富沢君、図書券5万円分が授与されました



英語スピーチコンテスト優秀賞 與安君



カナダ・ボドウェル高校の校長を囲んで 右端は通訳した卒業生の後藤義孝さん

## 生徒会新役員決まる

11月4日の生徒会役員選挙で新役員が決定しました。先輩たちが築いてきた伝統をさらに躍進させ、全校生徒をリードして、新しい歴史を創って欲しいと思います。また、旧役員の方皆さん、1年間ご苦勞様でした。皆さんのこれまでの努力が新役員に引き継がれます。さらなる生徒会の発展のために新役員を応援してください。

### 新生徒会役員のひとこと

#### 会長 2年7組 松橋 鑑

1年のとき、正直生徒会には全く興味がなく、誰がやろうと僕には関係ないと思っていました。多分、同じ考えを持つ人は、何人もいると思います。学校生活をよりよくするために、みんなの意見を一つひとつ聞いて、よりよい学校をつくっていきたくと思っています。

#### 副会長 2年1組 高橋 奈々恵

副会長として、会長をしっかりサポートしたいと思っています。また生徒会メンバーと力を合わせ、スムーズに仕事が出来るように頑張っていきたいと思っています。

#### 副会長 1年10組 久能 麻依

正直自分でとても驚いています。しかし、なったからには自分で宣言した公約を実現できるように会長を支えていきたいと思っています。一生懸命仕事をこなしていきます。

#### 会計 1年10組 北村 昌也

これから会長や副会長の仕事をサポートします。皆さんの代表としての自覚を持ち、その名に恥じないよう努力していきたいと思っています。

#### 会計 1年10組 山川 翔太郎

色々分からないことが多いですが、自分に出来ることをしっかりやって、この学校をもっとよい場所にしていけるように頑張りたいです。

#### 書記 2年7組 山澤 いずみ

私は生徒会経験がなく、皆さんに迷惑をおかけするかもしれません。しかし、他の役員の方皆さんや先生方にサポートしていただきながら頑張りたいと思います。

#### 書記 2年8組 小森 康平

縁の下の力持ちとして、常に先のことを考えて行動していきたいと思っています。わからないこともたくさんありますが、一生懸命頑張りたいと思います。

### 旧生徒会役員のひとこと

#### 会長 3年5組 太田 麻友

元々、1年という短い間でしたが、個性あふれる楽しい仲間たちとの日々はとても早く過ぎ去ったように思います。今、生徒会を通じて培い得たものに思いを馳せると同時に、私は後を継ぐ後輩たちに、期待して止みません。

#### 副会長 3年11組 鈴木 寿江

生徒会誌の作製、決算や予算などの仕事をしている間に任期が終了してしまいました。先生方や皆様のおかげで務めあげる事ができました。2年間生徒会役員として学校に貢献できうれしく思います。

#### 副会長 3年11組 藤本 衣璃奈

2年間の生徒会活動を通して、私は小さな事も日々コツコツと努力することの大切さを学びました。生徒会の仕事を一つ為し遂げた時の喜びは生徒会役員になっていなければ、経験することはなかったと思います。

#### 会計 2年1組 高橋 奈々恵

生徒会を通して、今まで経験したこともないような仕事をこなしてきました。時には辛いこともありましたが、先輩方のおかげで楽しくやることができて、本当によかったです。

#### 会計 2年11組 小山 愛美

1年間、遅くまで残ったこともありましたが、でも、充実した時間を過ごすことができました。

#### 書記 3年5組 紺野 宏之

あっという間の1年間でした。「生徒の代表」というプレッシャーを感じながら、いろいろな仕事をこなしました。あまり目立った活動は出来なかったけれど、小さいことも手を抜かずにやれたことはよかったです。



旧生徒会役員のみなさん  
後列左から 高橋さん 紺野君 小山さん  
前列左から 藤本さん 太田さん 鈴木さん

# 2006年度東海大学推薦入学合格者決定

今年度、東海大学への付属推薦入学者は432名で、希望者の全員が合格しました。これは、3学年在籍者の80.3%です。学年主任の計画的な指導と学級担任のきめ細かな進路指導が展開された結果、大部分の生徒が、希望した分野に進学することができました。

医学部に次いで難関となった体育学部や看護系の学科等は今年度も希望者が多く、推薦枠も限られており、厳しい内部選考でした。早い段階から自らの適性と興味の把握をし、日々の学習を積み重ねる努力がきわめて重要であるといえます。

また合格決定後も、大学での講義を理解する基礎学力と知的好奇心の活性化をはかることは常に大切です。卒業までのこの時期に、本を読み、よい映像に接してください。それぞれの進学先の学科からは、「研究レポート」の課題が指示されます。また、体験留学に参加している生徒達が持ち帰ってくる様々なことを、一人でも多くの生徒達が学びとって新たな自己実現に臨んで欲しいと思います。



## ●推薦状況

大学・短期大学	学部・校舎	人数
東海大学	文学部	87
	政治経済学部	47
	法学部	51
	教養学部	31
	体育学部	21
	理学部	32
	情報理工学部	26
	工学部	77
	情報デザイン工学部	2
	開発工学部	2
	海洋学部	6
	医学部	2
	健康科学部	18
小計		402
北海道東海大学	国際文化学部	3
	芸術工学部	2
小計		5
東海大学短期大学部	高輪校舎	10
	静岡校舎	5
小計		15
東海大学医療技術短期大学		3
ハワイ東海インターナショナルカレッジ		7
小計		10
総合計		432



石井 奈津美

3年5組  
大田区立大森東中学校出身

## 夢に向かって

### 健康科学部社会福祉学科合格

私にとって社会福祉士は、幼い時からの憧れでした。小学生のときに福祉作業所を訪ねる機会があり、障害者の方々と一緒に作業をしました。そのときに、障害者のご苦勞を感じると同時に、障害者の心と体の支えになっている社会福祉士の方たちを見て、私も将来、立派な社会福祉士になりたいと心に決めたのです。

念願の社会福祉学科に合格することができました。社会福祉学科では、教室での学問の他に、レクリエーション援助技術といった実習を中心とした授業も行われています。その中から必要な知識や技術をしっかりと学び、将来、福祉作業所や老人ホームで働くときに、それらを十分に活かせるように精一杯頑張ります。

# 学園教科モデル校公開研究授業行われる

10月18日(火)・19日(水)の両日、学園教科モデル校公開研究授業が、全国の学園各高校および東海大学から多数の先生方をお迎えして開かれました。今年度「理科」・「英語」・「高校現代文明論」の3教科がモデル校として指定を受けました。「学園教科モデル校」は、生徒の意欲的な学習を導き出すための授業開発を目指して学園より指定を受けるものです。各教科とも公開

研究授業後の講評会では、活発な意見交換がありました。そして今後の授業改善に向けての新たな手がかりを得ることが出来ました。これを受けて、学園各校の先生方にとって、それぞれの学校の授業改善の参考になることを期待します。

次にそれぞれの教科ごとの講評会で出されたご意見・アドバイスの一部を紹介します。

## 高校現代文明論の講評

田中正行・宮島孝一両先生の授業に対して、昨年学園より示された『高校現代文明論の基本的枠組み』に沿った授業展開であるとの評価を頂きました。田中先生の授業については、グループ別のポスターセッションによる授業は興味深かったが、これだけの力を持った生徒ならば、個人による発表でも良かったのではないか、という意見がありました。また、宮島先生の授業については、「20世紀の豫言」(明治34年『報知新聞』)をはじめ大変興味深い教材が効果的に使われており、よく整理されていた一方で、内容が盛り沢山すぎて少々無理があったのでは、という声もありました。また、生徒の調べ学習が積極的に取り入れられているのは、生徒参加型という点では評価できるが、インターネットや書籍だけに頼るのではなく、生徒自らが現場に出かけて調べることも大切ではないかというアドバイスを頂きました。(梶川)



環境問題について話し合う生徒たち

## オーラル・コミュニケーションと英語 I の講評

オーラル・コミュニケーションの実施方法について、「分級」(少人数クラス)にしている効果、評価方法、シラバス・授業案の作成方法など数多くのご質問がありました。また、学習環境が整っているとの評価もいただきました。

英語 I に関しては、アクティビティーについて意見とアイデアを出しあい、あわせて、英語教授法に関する書籍、教材作成に役立つコンピュータソフトの情報交換をしました。

教育開発研究所の鈴木広子先生からは、学習のメカニズムを考慮した理論的な裏付けのあるアクティビティーを更に考案・活用していくようにとのアドバイスをいただいています。(大澤)



英語 I の授業風景

## 理科の講評

問題解決型の導入実験や統計処理、コンピュータ処理などを取り入れた、実験を中心とした授業を2年生の物理 I、1年生の理科総合 B、2年生の化学 I において展開しました。講評会では、各班が異なった試薬を使った化学実験を行い、その結果を時間内にプレゼンテーションし合うという授業スタイルや、考えさせる授業内容などが評価されました。また改善点についても数多くの建設的な提案がありました。さらに、本年度前半のSSH活動について報告をおこないました。学園内で連携を取りながら情報を共有し、各付属校でも外部への活動の積極的な参加を実施していこうという話になりました。講評会の意見を集約して、今まで以上に授業開発をおこない、より良い授業を展開していこうと考えています。(石井)



デジタルセンサーを用いて中和滴定曲線を求める

## SSH活動報告

10月29日、共立薬科大学実験実習に1年SSHクラス45名が参加しました。心臓の拍動と骨格筋の収縮を講義と解剖を通して学びました。また、11月5・6日の2日間、京都の立命館高等学校で、国内から5校、海外から9校が参加するという国際色豊かなサミットSuper Science Fair (SSF) 2005が開催されました。本校から4名の生徒が参加。2年生2名がそれぞれポスターセッションを、1年生2名が学校紹介を行いました。共通語は英語で、本校の生徒も初めての体験にとまどいながらも大きな収穫を得て帰りました。

### 蛙の解剖で骨格筋を見る(共立薬科大学実験実習) 矢野 達也

1年10組 川崎市立川中島中学校出身

私たちは、骨格筋の動きを調べるために蛙の解剖実験をしました。数種類の道具を使い神経や筋肉にいろいろなパターンの刺激を与え、反応を観察する実験を行いました。

解剖の授業はこれまでに1度しか経験がなく、最初はとても抵抗がありました。緊張してハサミを持つ手が震えたことも何度もありました。覚えたはずの手順が分からなくなり、仲間と確認し合って実験を進めました。

切断した足の神経と脳はすでに繋がっていないのに、神経を刺激するとピクピク反応した事にはとても驚きました。生き物の不思議さや神秘を感じました。

この実験で、普段知る事のできない筋肉の動きをこの目で見る事ができ、また命の大切さを改めて考えることができました。これがSSHクラスだからこそできる実験だと思うと、このクラスに入って本当によかったと思います。SSHに入ったからには、全ての知識を吸収しようと思っています。



座骨神経を刺激している様子

### 本当の英会話に驚く(立命館高校SSF) 武 佑哉

2年11組 我孫子市立我孫子中学校出身

今回、私は高輪台高校のSSHカリキュラムで学んだことをもとにこのサミットのポスターセッションに参加しました。参加して最も強く感じたことが「本当の英会話」のレベルの高さです。特に会話の速さ、構文、難解な単語の数々など、しばし絶句する場面がありました。

普段私たち日本人が英会話を行う際には、「大多数が日本人であるという環境」つまり「日本人が中心の英会話」になっていると思えるのです。どうしても話し手である外国人は、無意識のうちに日本人が理解しやすいように「調整を加えた簡素な会話」となっているようです。

しかし今回このサミットでは、いつもの「日本人が中心にいる環境」とは明らかに異なる予想を超えた会話レベルであって、自己の英会話力の未熟さ、拙なさははっきり感じ取ることになりました。

私は英語力の向上を卒業までの目標の1つとしていますから、この感覚を強く心に刻んで努力し、本当の英会話ができる日を目指していこうと考えました。



英語でポスターセッションをする平塚さん

### 英語とのふれあいで得たもの(立命館高校SSF) 久能 麻依

1年10組 さいたま市立土合中学校出身

Super Science Fair 2005に参加しました。そこは全てが英語の世界でした。参加者のほとんどが外国人で、初め、言葉が通じることが怖じ気づきました。しかし、同室となった外国人が向こうから話しかけてくれて緊張がとけました。

今回、私は榎本君と組んで英語で学校紹介をしました。英語でのプレゼンテーションは初めてのことで、不安もあり戸惑いました。しかしこの間、英語にたくさん触れることができ、とても良い経験になりました。また、参加校の皆さんの英語のレベルの高さに圧倒されました。日本に居るのにまるで外国に来ているような気分でした。英語しか通じず、苦戦しましたが、これまで学んできたことが実践できたと思います。またこれからの課題も見つけることができました。今回学んだことを活かし、いろいろなことに挑戦してみたいと思います。2日間、とても有意義に過ごせました。



英語で学校紹介をする  
久能さん(右端)と榎本君(左端)

## 英語スピーチコンテスト優勝



**與安 一誠**  
1年3組、横浜市立蒔田中学校出身

建学祭の英語スピーチコンテストで金賞を戴いたことは、英語が好きな私にとってとても大きな自信となりました。

スピーチコンテストのクラス代表に選ばれた時、私は嬉しいという気持ちと出来るのかなという不安とが交錯していました。下書きを何回も書き直したり、本番に向けて原稿を覚えなければならなかつ

たりと、大変なものでした。しかし、ネイティブの先生達と会話を重ねていく中で、先生とも仲良くなれ、自分のリスニングやスピーキングなどのスキルが上がっていくのが実感できたので、少しも苦になりませんでした。このような数少ない経験ができて私は幸せです。

私たちと違う文化をもっている人達とコミュニケーションを取れるということは、とても素晴らしいことだと思います。外国の人達ともっと会話ができるように、これからも英語を勉強していこうと思っています。

## 建学祭 バザー・けやき屋食堂 収益金を寄贈していただく

### 後援会の皆様 ありがとうございます

今年も後援会から、バザーとけやき屋食堂の収益金として1,775,743円という多額のご寄付を頂きました。昨年は、建学祭で使う照明器具などを購入させていただきました。演劇部、ダンス部、軽音楽部などの発表・演奏が華やかに演出でき、建学祭が一段と盛り上がりました。今年度も、後援会の皆様のご厚意をありがたく頂き、生徒に還元できる備品などを検討して購入させていただきます。



## カナダ BODWELL 高校

### Stephen Smith 校長先生を迎えて

10月24日、カナダBODWELL高校の校長Stephen Smith先生が本校を訪れ、お互いの国の教育環境ならびに教育の特色について熱心な会談が持たれました。

BODWELL高校は1991年、バンクーバーに創設された新しい学校です。日本の中学2年生から高校3年生にあたる生徒が、世界30カ国から集まってい

る国際色豊かな学校です。本校の吹奏楽部のカナダ演奏旅行の際には、体験授業をさせていただきました。Stephen Smith先生は、本校の施設・設備が充実していること、本校の生徒の礼儀正しさにとっても驚いた様子でした。お土産にカナダの先住民イヌイットの伝統工芸作品を頂きました。玄関横の表彰ケースに展示しておきます。ご覧下さい。

# 高輪短大 INFORMATION



## アユはブレない

～高輪校舎の現代文明論～

広川 美津雄

情報・ネットワーク学科教授

「アユはブレない!」。これはつい先ごろまで見聞きしたあるデジタルカメラの宣伝文句です。このカメラは手ブレを起しても、ブレのない写真を撮れるのです。ではなぜアユはブレないのでしょうか。宣伝文句の続きでは「手ぶれ補正」を謳っています。これはレンズを通して入ってきた光の軌道が「基準」からどれだけず

れているかを測り、瞬時にレンズを動かし、軌道修正するというものです。

人間は周りの世界に対して、「あれ、なにかおかしい?」「そのとおり!」と感じたり、考えたりしています。それは人間が補正機能付のカメラと同じように「基準」となる考えをもっているからです。しっかりした「基準」をもつことによって、ブレない生活や人生を歩むことができます。

補正機能付きのカメラと違って、人間の基準は人によって異なっています。しかも、常に工事中で、つくっては壊し、壊してはつくることの繰り返しです。そうすることによって、ブレた自分を過去の基準に合わせるだけではなく、未来に向かっ

て軌道修正することも、ときには自分の周りを変えていくこともできます。

高輪校舎の「現代文明論」は、学生が多くの感じ方や考え方にふれ、思考や対話を繰り返すことによって、自分で自分の基準をつくる手助けをすることに力を注いでいます。講義に続いてレポート、さらにコンピュータ・ネットワークを使ったアンケートや掲示板システムなどによって、思考や対話を繰り返します。こうすることによって、自分で考え自分で行動できる人間を育てることができると期待しています。「アユはブレない! あなたは?」と問いかけるところから本学の現代文明論は始まります。

## 吹奏楽部 第53回全日本吹奏楽コンクール金賞受賞祝賀会開催

主催 後援会、部活動後援会、高輪会、本校

### アリーナに金賞のファンファーレ

10月30日(日)、アリーナに再び金賞の音色が響きました。磨きぬかれた吹奏楽に感動の拍手でした。演奏会後は食堂において143名の一致団結で獲得した金賞の祝賀会です。竹中後援会会長のご挨拶をはじめ、皆様からお祝いのお言葉をいただき、生徒たちは受賞の喜びを新たに、来年、再び金賞受賞をめざすことを誓いました。

食事を囲んだ懇談会では生徒の緊張も解け、誇らしい笑顔で溢れていました。



## 高輪会10周年・東海同窓会54周年 記念式典開催される

高輪会会長 土方 啓司



念なことに実質的な活動はできない状況が続いていました。この東海同窓会から数えると54周年にあたります。

本年、高輪台高等学校同窓会が高輪会として再発足してから10年を迎えました。高輪台高等学校には東海同窓会という名称の同窓会が存在していましたが、残

10月22日に「高輪会10周年・東海同窓会54周年」記念式典を東海大学校友会館にて開催しました。当日は高輪会名誉会長である杉校長、東海大学附属高等学校連合同窓会の戸塚会長始め多くの来賓の方々・先生方と高輪会会員100名程が集まり、盛大な式典となりました。式典は本校吹奏楽部の演奏で、熟年の会員には懐かしい曲のパレードでした。参加者は素晴らしい吹奏楽を堪能していました。また当日、「高輪会10周年・東海同窓会54周年」記念誌を皆さんにお渡ししました。懐かしい写真・記事・実験計器等々が掲載されているのを見て母校の歴史を再認識されたようでした。

## お知らせ

**アーチェリー部 関東選抜大会出場 (11月12・13日)**

**保科君 東南アジア柔道大会に出場 フィリピン・セブ島にて(12月1日~4日)**

結果は1月号で報告します。

### 広報部より

生徒会選挙監査委員長の3年8組安倍大貫先輩から生徒会役員選挙と今後の活動予定について聞きました。

「生徒会選挙では、信任投票ばかりではなかったので、票の数え間違えないように気を使いました。今後の予定は2月末に各部・同好会・行事での予算に対する会計監査を1年生・2年生が行ないます。皆さんから集めた活動費が正しく使われているか、しっかり監査します」

1年10組 北村 昌也 鈴木 亮

## 行事予定

### December 12 月

### January 1 月

- |                                    |                               |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1日(木) 中間試験(1・2年)                   | 17日(土) スポーツ大会(2年、アリーナ)        |
| 卒業試験(3年) (~2日)                     | 18日(日) ヨーロッパ研修旅行(~28日)        |
| 3日(土) 後援会委員総会                      | 20日(火) 金曜日の授業                 |
| 4日(日) 第4回受験生・保護者<br>学校説明見学会(10:00) | 22日(木) 冬季休暇前諸注意<br>大掃除(7時限目)  |
| 5日(月) 自宅学習日(3年)                    | 23日(金) 天皇誕生日<br>講習・補習期間(~28日) |
| 6日(火) 朝礼<br>答案返却日(3年)              | 冬季休暇(~1月9日)                   |
| 7日(水) 特別講座開始(3年)                   | 29日(木) 学園教職員一斉休暇(~1月5日)       |
| 10日(土) スポーツ大会(1年、アリーナ)             |                               |
| 11日(日) SHIP出発(~2月25日)              |                               |
| 12日(月) 校医相談日(13:00~16:00)          |                               |
| 14日(水) 専門医によるカウンセリング               |                               |
| 15日(木) 入試相談(生徒自宅学習日)               |                               |

- |                           |
|---------------------------|
| 1日(日) 元日                  |
| 6日(金) 新春懇親会               |
| 9日(月) 成人の日                |
| 10日(火) 朝礼・授業開始            |
| 11日(水) 専門医によるカウンセリング      |
| 14日(土) 東海大学進学相談会(2年)      |
| 16日(月) 校医相談日(15:00~17:00) |
| 18日(水) 本校推薦願書受付           |
| 21日(土) 特設模試(2年)           |
| 22日(日) 本校推薦入試             |
| 23日(月) 本校推薦入試合否発表         |
| 24日(火) 本校推薦入学手続き          |
| 25日(水) 本校一般願書受付(~31日)     |
| 28日(土) 英検・漢検(9:00~12:00)  |
| 31日(火) 特別講座終了(3年)         |

## 3年生最後のスポーツ大会



### 編集後記

師走。語源大辞典によると、師匠の僧すなわち師僧が経をあげるために東西を駆けめぐるとある。教師が駆けめぐると思っていたが思い違いである。思い違いと言えば、電車で、ミニスカートの女子高生が右足の足首を左膝に乗せ、鞆の中から鏡を出し、誰はばかることなく化粧を始めた。羞恥心のないその姿に周りが目を背ける。心の内から光るものがあれば必ずから化粧などしなくとも美しくなる。彼女は思い違いをしている。これは自戒をこめて。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>